|  |
| --- |
| 参考資料2 |

今後の在宅医療等の新たなサービス必要量の算定について

【在宅医療需要のイメージ】

　　在宅医療等対象者　→　地域医療構想の推計値の検証

精神疾患患者

（４）

訪問診療対象者

（1)－(2)－(3)

外来患者相当数

→(2)

施設入所者相当数

（特別養護老人ホーム、

老人保健施設、

 介護医療院への転換）

→(3)

【今後の流れ（イメージ）】

|  |  |
| --- | --- |
| 在宅医療 | 介護 |
| 【国】推計方法・データ提供　・地域医療構想策定時に非公表のデータの提供（老健入所者・療養病床医療区分１の70％、療養病床地域差解消分、一般病床C3未満）　・患者調査による退院後の行先　　　　　　　　　↓【府】新たなサービス必要量の算定・外来相当数の算定・介護医療院への転換見込み数・介護施設・在宅医療への按分　　　　　　　　　↓【市町村等】　・数字等の確認・検証　 事前調整 【圏域・市町村】医療と介護の整合性を図るための自治体間での整理・調整　　　 ・医療計画と介護保険事業（支援）計画で対応すべき需要　 　・具体的な整備目標・見込み量の在り方　　 ・目標達成の評価 協議の場 【圏域・市町村】有識者を含めた協議の場での審議【府】必要に応じサービス必要量を修正【府】必要に応じサービス必要量を修正 | 【国】介護保険事業計画用ワークシート公表　　　　　　　　　↓【市町村】施設・居宅系サービスの見込み量等・在宅サービス等の見込み量の推計　（H30～32年度、37年度）　　　　　　　　↓【府】サービス見込み量等集約　　　　　　　　　【内容・実施主体未定】介護医療院への転換意向調査【市町村】事前調整を行った後、機能分化による新たな介護サービス必要量を追加【府】サービス見込み量の集約 |